

## 第3回 民間技術説明会(技術概要)

番号	業者名	技術名称	技術概要
1	ボンテラン工法研究会	ボンテラン工法	<p>技術の概要 浚渫土砂(ヘドロ)等の高含水比泥土にボンファイバー(古紙破砕物)と固化材を添加・混合することにより、優れた強度特性・高い耐久性を有する人工地盤材料に改良する工法</p> <p>&lt;特徴&gt; ○従来技術との比較 ・ヘドロに含まれる有機物等の分解に際し、硫化水素ガスの発生抑制方法確立 ・乾湿繰返しを受けても劣化せず、極めて高い耐久性を示す</p> <p>○特徴 ・浚渫土砂(ヘドロ)等全量再生可能。 ・関東地方整備局主催 平成23年度建設技術フォーラム「東日本大震災で効果のあった技術」として応募総数165技術の中から6技術の一つに選定された。</p>
2	日本道路(株)	完全付着型コンクリートオーバーレイ工法	<p>技術の概要 オーバーレイを行おうとする既設コンクリート版を、ウォータージェット及びショットブラストによる大小凹凸の表面処理を行い、従来打ち換えにて対応していたが本技術を使用することにより、新旧コンクリートを完全に一体化できる。</p> <p>&lt;特徴&gt; ○従来技術との比較 ・使用するコンクリートが量が少ないためコスト縮減が可能。 ・工期を約10%短縮が可能</p> <p>○特徴 ・成田空港、羽田空港、新千歳空港にて、10件以上(約500,000m<sup>2</sup>)に適用されている。</p>
3	(株)不動テトラ	津波に対する防波堤港内側マウンドの保護工法	<p>技術の概要 津波に対する防波堤の粘り強さを確保するために、港内側マウンドを腹付石で嵩上し、表層を津波の越流に対して被覆することが有効であり、被覆ブロック・消波ブロックを使用することにより施工が容易になる。</p> <p>&lt;特徴&gt; ○従来技術との比較 ・津波に対する新しい工法である。</p> <p>○特徴 ・越流水深と断面緒元から決まるパラメーターを用いた簡便で精度の高い手法。 ・津波の規模に応じた適切なブロックの質量を自由に選択できる。</p>
4	国際航業(株)	海洋レーダーによる波浪及び津波観測	<p>技術の概要 レーダー波による流れを観測するシステムにより、測機材を地上に設置することが可能となり、低コストでの設置及びメンテナンスが可能となった。</p> <p>&lt;特徴&gt; ○従来技術との比較 ・測機材を陸上に設置。(設置場所60m×10m以上) ・GPS波浪計と同等の精度での観測が可能。</p> <p>○特徴 ・GPS波浪計と比較してコスト縮減(設置及びメンテナンス費用)。 ・津波の規模に応じた適切なブロックの質量を自由に選択できる。 ・レーダー波特有の使用制限(大型船舶による拡散、電線等)がある。</p>